

平成30年北海道胆振東部地震への派遣

- 北海道開発局をはじめ、全国の地方整備局等からTEC-FORCEのべ3,064人・日(9/6～10/15)を派遣
- 発災当日から、被害の全容把握のため、防災ヘリによる被災状況調査を実施
- 被災した公共土木施設の被災状況調査を実施し、迅速な激甚災害の指定(9月28日閣議決定)に貢献
- 厚真川の河道閉塞箇所においては、24時間体制で応急対策を実施し、10日間で土砂撤去を完了
- 道道・町道の道路啓開や応急復旧等を行い、緊急車両の通行を迅速に確保
- 断水となった安平町・厚真町・日高町の避難所等へ、散水車を派遣し給水支援を実施
- 安平町・むかわ町・厚真町の町道の重要橋梁33橋を対象に、地震時の緊急点検を実施



防災ヘリによる被災状況調査
(北海道勇払郡厚真町)



自治体所管施設の被災状況調査
(北海道勇払郡安平町)



ドローンによる被災状況調査
(北海道勇払郡厚真町)



散水車による被災地への給水支援
(北海道沙流郡日高町)



関係機関と連携した道路啓開
(北海道勇払郡 厚真町)



町道橋梁の緊急点検を支援
(北海道勇払郡厚真町)



河道閉塞箇所において24時間体制で土砂撤去を実施
(北海道勇払郡厚真町・厚真川幌内橋付近)



TEC-FORCE(緊急災害対策派遣隊)が創設10周年を迎えたことを記念し、「大規模自然災害 TEC-FORCEは何をすべきか。」について考えるシンポジウムを開催しました。

パネルディスカッションでは、TEC-FORCEへの期待や今後発生が懸念される大規模自然災害に対し、TEC-FORCEを強化・拡充していくことの必要性について多くの意見が出されました。

■開催日時:平成30年8月27日(月)14:00~16:30

■開催場所:星陵会館(東京都千代田区永田町2-16-2)

■参加者:石井国土交通大臣、築国土交通大臣政務官、菊地技監、平垣内危機管理・運輸安全政策審議官、塚原水管理・国土保全局長、自治体、防災関係機関、建設企業関係者、一般参加者 約300人

○第一部 基調講演、TEC-FORCE10年の活動報告

石井国土交通大臣の挨拶、来賓として安倍内閣総理大臣から、TEC-FORCEへの激励のメッセージをいただきました。

基調講演として、高橋内閣危機管理監から「政府全体の対応、TEC-FORCEへの期待」についてお話しいただき、その後、塚原水管理・国土保全局長がTEC-FORCE10年の活動報告を行いました。

■挨拶



石井国土交通大臣

■ビデオメッセージ



安倍内閣総理大臣

■基調講演



高橋内閣危機管理監

■活動報告



塚原水管理・国土保全局長 5

○第二部 パネルディスカッション

第二部では、長岡技術科学大学 松田曜子准教授のコーディネートによるパネルディスカッションとして、「首都直下地震等大規模自然災害において果たすべきTEC-FORCEの役割と課題」をテーマに、村井宮城県知事、戸羽陸前高田市市長、澁谷東峰村長、陸上自衛隊九鬼隊長、石原関東地方整備局長を迎え、TEC-FORCEの活躍、国への期待、連携による相乗効果の発揮についてご議論いただきました。

村井知事はじめ、これまでに被災経験をお持ちの首長から「組織力、広域性、即応力を活かした世界中でも類をみない大規模な技術集団であり体制を強化し今後の活躍に期待している」「小さな自治体にとって土木技術集団であるTEC-FORCEの被災地派遣、人的支援は大変重要である」等、TEC-FORCEへの期待の発言が相次ぎました。

■ パネルディスカッションの様相



■ 村井 知事



■ 戸羽 市長



■ 澁谷 村長



■ 松田 准教授



■ 九鬼 隊長

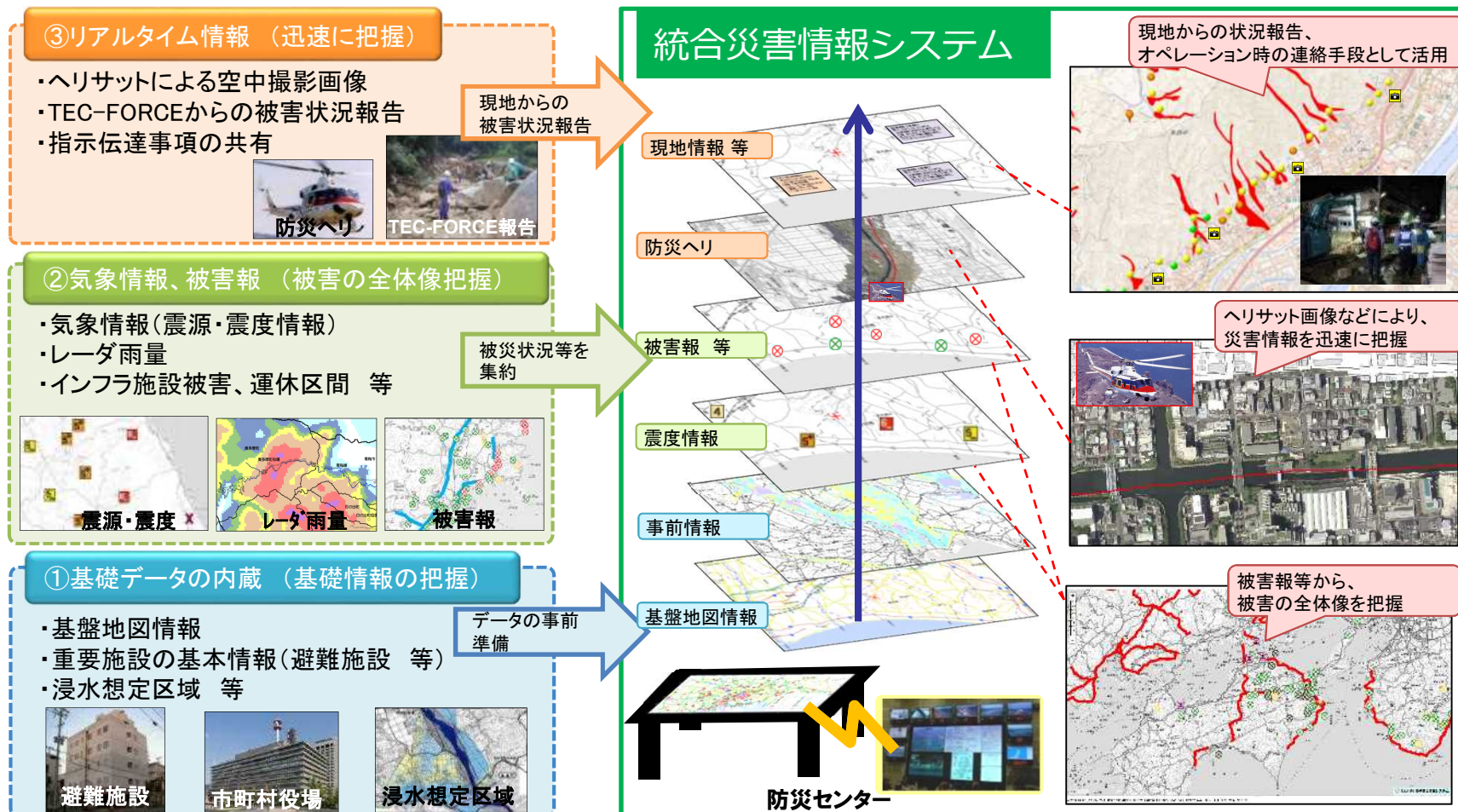


■ 石原 局長



統合災害情報システム(DIMAPS)の概要

- 災害発生時に提供される膨大な情報を集約し、Web地図上に統合表示することで、被害情報をより分かりやすく把握・共有できる今までにない新しいシステム。
- 震源・震度情報、防災ヘリ撮影画像、TEC-FORCEからの被害情報等を地図上に表示し、災害情報を迅速に把握すると共に、被害の全体像を把握することが可能。



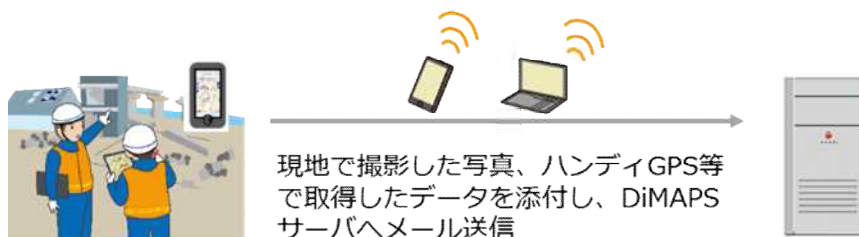
平成30年度の主な改良内容(DiMAPS)

○ メールによる現地情報の登録事項を追加

現場のTEC-FORCE等が所持する以下の位置情報を含んだ現地情報をメールから自動で読み込みDiMAPSに登録。

- ・ 現地写真
- ・ 移動経路（平成30年度改修により追加）

登録情報を地図上に重ねて表示し、例えば山間部における位置情報を含む調査結果を確認し、継続的な調査等に寄与。



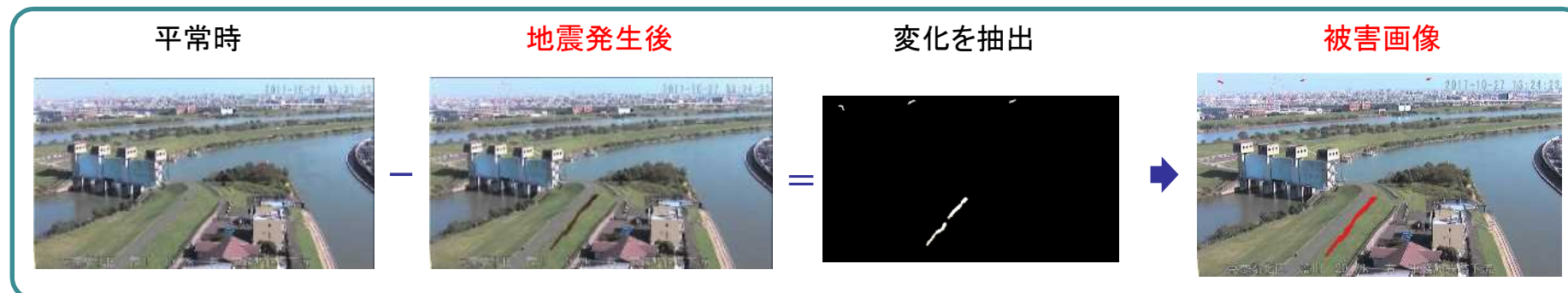
<DiMAPSでの表示イメージ（赤線がTEC隊員が歩いたルート）>



○ 被害画像の自動抽出機能を追加

震度4以上の地震が発生した場合、地震発生前後のCCTV画像の解析により管理施設の被害が推定される箇所を抽出し、DiMAPSで画像を自動的に表示。

<被害画像抽出のイメージ>



ハザードマップポータルサイト

- 災害から命を守るためには、身のまわりにどんな災害が起きる危険性があるのか、どこへ避難すればよいのか、事前に備えておくことが重要。
- 国土交通省では、防災に役立つ様々なリスク情報や全国の市町村が作成したハザードマップを、より便利により簡単に活用できるようにするため、ハザードマップポータルサイトを公開中。

重ねるハザードマップ (平成26年6月～)

防災に役立つ様々なリスク情報を1つの地図上に重ねて表示



重ねるハザードマップ
～災害リスク情報などを地図に重ねて表示～

洪水・土砂災害・津波のリスク情報、道路防災情報、土地の特徴・盛り立ちなどを地図や写真に自由に重ねて表示できます。

地図を見る

場所を入力
例：茨城県つくば市北部1

表示する情報を選ぶ

洪水(想定最大規模)
洪水(計画規模)はこちら

土砂災害

津波


道路防災情報

洪水浸水想定
土砂災害警戒区域等
津波浸水想定
道路防災情報
洪水浸水想定+道路防災情報

※掲載データに関する留意事項

わがまちハザードマップ (平成19年4月～)

全国各市町村のハザードマップを検索



わがまちハザードマップ
～地域のハザードマップを手早く～

各市町村が作成したハザードマップをリンクします。地域ごとの様々な種類のハザードマップを検索できます。

すぐに見る

まちを選ぶ
都道府県 市区町村

①市区町村名を選択

②ハザードマップの種類を選択

洪水ハザードマップ
土砂災害ハザードマップ
津波ハザードマップ
高潮ハザードマップ
火山防災マップ

洪水ハザードマップ
インターネットで公開している。公開URLを詳しく見る

内水ハザードマップ
インターネットで公開している。公開URLを詳しく見る

高潮ハザードマップ
インターネットで公開している。公開URLを詳しく見る

津波ハザードマップ
インターネットで公開している。公開URLを詳しく見る

土砂災害ハザードマップ
インターネットで公開している。公開URLを詳しく見る

火山ハザードマップ

国土交通省ハザードマップポータルサイト <https://disaportal.gsi.go.jp/>

ハザードマップ

検索



- 東京オリ・パラ開催を支えるため、**国土交通省及び各関係機関の防災情報提供ツールを一元化し、多言語化やスマートフォン対応**により、平時から容易に防災情報等を入手できるよう、**防災ポータルを開設**。(平成29年8月)
- 平成30年7月豪雨などの近年頻発する災害を踏まえ、**地震以外の災害に関する情報やライフライン情報、多言語対応サイトの追加等、コンテンツを充実**。(平成30年10月)

「Disaster Prevention Portal / 防災ポータル」を開設！
 ○防災に役立つ情報156サイトを見やすくカテゴリズしてひとまとめに！
多言語対応サイトは 86サイト (2019年5月時点)



一元化

○地震・津波災害、風水害・火山災害・雪害の情報に対応！

関係機関の情報提供ツールを

私たちの取り組み

ライフライン情報

観光情報

訪日中に地震が発生し、医療機関を探す場合

- ① 被災者支援情報をクリック！
- ② 訪日外国人旅行者受入可能な医療機関をクリック！
- ③ 必要な検索項目を入れてクリック！
(例は都内「内科」で検索)



目的達成！